

礼 拝 順 序

前	奏		司 式
招	詞	ヨハネ4:23-24	奏 楽
讃	詠	561	
(読詩編	16:1-11	
讃	美 歌	試用版105	
聖	書	旧約 イザヤ 51:17-23 (p.1147 or 1328) 新約 マタイ 20:17-28 (p.38 or 44)	
祈	禱		
讃	美 歌	224	
説	教	「仕えるために」	秋吉隆雄牧師
祈	禱		
讃	美 歌	393	
奉	献	(献金・祈禱)	
主	の 祈	(564)	
頌	栄	541	
祝	禱		
後	奏		
(告		

司 式
奏 楽

月 日	司式	奏楽	礼 拝	受 付	献 金	聖餐当番
4/27						
5/ 4						
5/ 2(金)	掃					
5/10(土)	除					

一 次 週 礼 拝 一

説 教 目を開けていただきたい
聖 書 イザヤ51:1-8
 マタイ20:29-33
讃美歌 549 試用版1 (讃美
歌21-1) 224 352
204 542
交読詩編 17:1-15

一 本 日 の 集 会 一

求 道 者 会 礼拝後 於 談話室
初めて教会に見えた方、求道者
(洗礼を受けておられない方)は
お集まりください。

バザー会場準備 昼食の用意があ
ります。協力ください。

一 今 週 の 集 会 一

教 会 バ ザ ー
29日(火) 午前10時半
教会員は9時までにおいでくだ
さい。

入 門 講 座

1日(木) 午前10時

牧 師 面 会 日

1日(木) 午後

祈 禱 会

3日(土) 午後7時半

一 報 告 と お 願 い 一

各委員会は総会報告資料を本日

中に牧師までご提出ください。

一 今 週 の 誕 生 者 一

一 集 会 状 況 一

	男	女	計
教会学校 生徒	4/20 7	11	18
大人	4/20 9	12	21
成人科	4/20 0	2	2
主 日 礼 拝	4/20 33	67	100
洋 光 台 集 会	4/23 1	3	4
入 門 講 座	4/24 3	7	10

一 牧 師 室 か ら 一

主イエスは「ぶどう園の労働者
」のたとえをされた。ぶどう園の

主人は収獲する労働者を雇うため早朝広場に出かけた。最初に、1日1デナリオン（当時の1日の労賃）の約束で雇った。そして9時、12時、午後3時、更に夕方5時にも雇いぶどう園に送り込んだ。夕方6時になり、主人は、まず最後に雇って1時間働いた労働者に1デナリオンを支払った。それを見た、朝から一日中働いた労働者は多く貰えたと期待したが、1デナリオンだった。彼らは1時間働いた者と一日中働いた者が、同じ扱いでは不当だと不平を言った。主人は約束は違えてないよつばね、自分のぶどう園では皆同じように支払ってやりたいと答えた。

労働の大小によって賃金が支払られるのが、世の常識であり、正義とも言えよう。だから、主イエスのたとえは不公平に思える。私たちは形に現れた労働の量を見る。しかし、主イエスは違うところを見ておられる。労働者は皆、朝から広場に来て雇われるのを待っていた。雇われた時刻は、明らかに労働力の多い順である。夕方5時に雇われた人は「なぜ、何もしないで一日中ここに立っ

ているのか」と聞かれた時、「だれも雇ってくれないのです」と答えている。彼は障害などがあり労働力が少ないと見捨てられ、朝から夕方5時まで雇ってくれる人を待ち続けた。この待ち時間はどんなに辛く悲しい時間であったか。朝から働いた人は確かに暑くきつい仕事をしたが、今夜家族と夕食が食べられるという安心感があった。夕方5時に雇われた人は「今夜も水を飲んで寝るしかない」と絶望的な思いで立ち続けた。主イエスは見えるところでなく、見えない人の悲しみに目を留められる。そして、彼らにも1デナリオンを支払い、家族でお腹いっぱい食べなさいと、生きることを絶対的に是認してくださっている。

私は、一人暮らしの盲人で生活保護を受けていた方のお宅で家庭集會をしていた。このたとえを読み彼女に感想を聞いたところ、即座に「イエス様、有難いと思います」と言われた。待ち時間の辛さと悲しみを知り、それを受け止めてくださる主イエスを喜ばれた。主イエスの視点から見る時、真に「福音」として響いてくる。

週 報

1997年4月27日 復活節第5主日
労働聖日（働く人の日）
巻18 4号

1997年度 教会主題

「復活のキリストに会う」

聖句 すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

マタイによる福音書 28章9節～10節

- 目標 1. 生活を整え礼拝、諸集會を守る。
2. 一つの奉仕を持って、教会の働きを分かち合う。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台7丁目8-29

電話 045-833-5323

FAX 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉隆雄